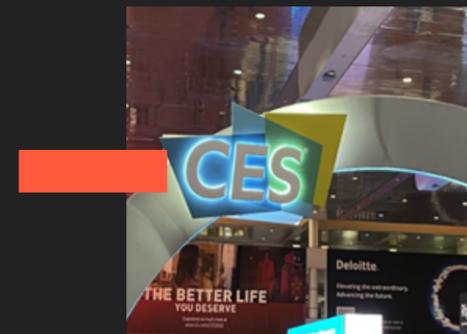


■

# シリコンバレー & CES



# グローバル オープンイノベーション プログラム

■ 補足説明資料

お申込み前に必ずお読み下さい





## Message

**このプログラムに参加することは、蝶の小さな羽ばたきと同じように小さな出来事かもしれない...**

**ただ、この小さな羽ばたきが遠い将来大きなハリケーンとなるようなビジネス変革に繋がることを期待して実施するものです**

Butterfly Effect



## Purpose

- 世界における日本企業の競争力と将来性の確認
- グローバルマインドの醸成
- 現地テック企業とのオープンイノベーションの機会創出

## Participation target

- 自社にはない新たな視点を取り入れて成長したい方
- 自社にはない技術を持つテック系企業とオープンイノベーションによる新規事業を検討したい方
- 事業承継者、将来の幹部候補、新事業担当者 など

## Mission

今後の経営を考える上で  
**「海外を見て自社の経営を見つめ直す」** 必要性を認識し、新たなイノベーション創出を目指す!!



# Program Overview

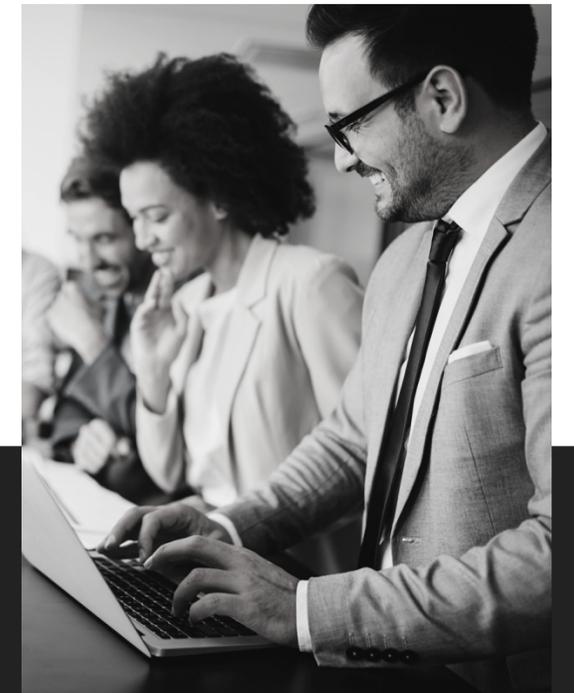
- 9.15 (金)** **参加者説明会** 「プログラムの概要・主旨説明、参加者自己紹介、全体スケジュールの確認」
- 10~11月** **事前マッチング調整** 「シリコンバレーの大手企業及びスタートアップ企業との面談ニーズ確認」
- 12.26 (火)** **直前説明会** 「最終スケジュール確認」

## シリコンバレー & CES

- 1.10 (水)** CES視察 (AIロボティクス、デジタルヘルス、メタバース・XR、アドバンスモビリティ等)
- 1.11 (木)** CES視察 (スタートアップ、フードテック、スポーツテック、スマートホーム等)
- 1.12 (金)** 移動+スタンフォード大学 ビジネス革新ワークショップ
- 1.13 (土)** シリコンバレー ビジネス観光 (Computer History Museum、Apple Park Visitor Center、Meta Store、Googleplex)
- 1.15 (月)** シリコンバレー RakuNest、バークレーSkydeck、Japan Society of Northern California、日系企業訪問
- 1.16 (火)** シリコンバレー Plug and Play  
(商談マッチング、ネットワーキングイベント)

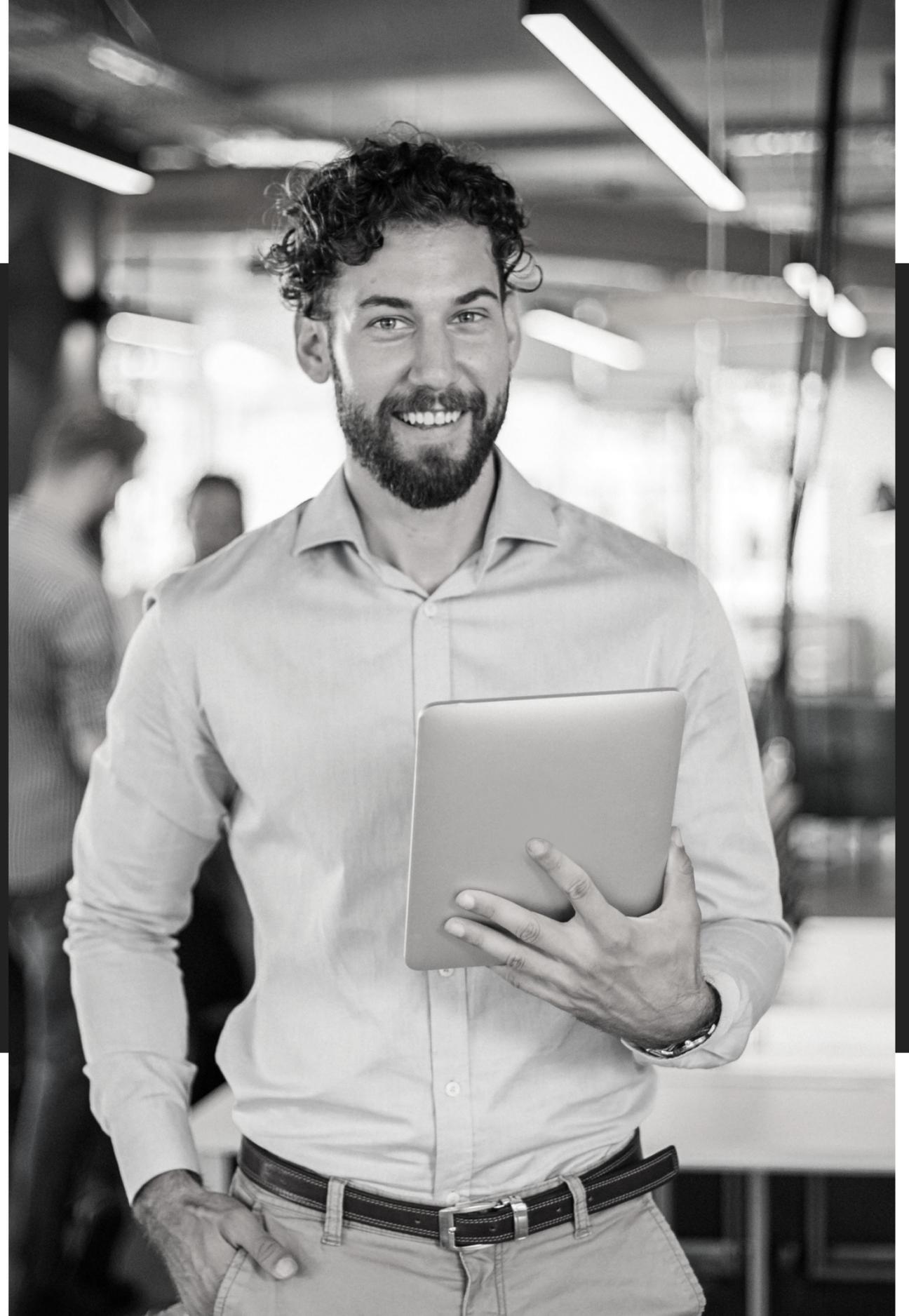
- 2.2 (金)** **復習報告会** 「研修の振り返りと決意表明」

※上記の訪問先は変更になる可能性があります





# Individual Explanation



# CES視察

1.10 wed~11 thu



## CESとは...

もともとCESとはConsumer Electronic Show という名前だったが、今は頭文字をとったCESが正式名称となっており、「セス」ではなく「シー・イー・エス」と読む。  
第1回開催は1967年で、50年以上続く**世界最大のテクノロジー展示会**。

## 開催時期・場所

毎年1回、1月にラスベガスで開催される。  
2024年は、1月9日~12日の4日間



## カンファレンス

CESでは展示フロアのほかに、世界中の企業が最新テクノロジーを活用したプロダクトを発表するセッションも設置されている。ここでは主要なトレンドや新しい技術など、展示フロアから生じるすべてのトピックに触れる200以上のセッションが含まれる。

## 展 示

Tech East, Tech West, Tech Southの3エリアに分かれており、エリアごとに大まかなテーマが決まっている。

2023年CESでは、

**Tech West**：スタートアップ、3Dプリンティング、スマートホーム、スポーツテック、その他の高度成長テクノロジーの革新内容が展示

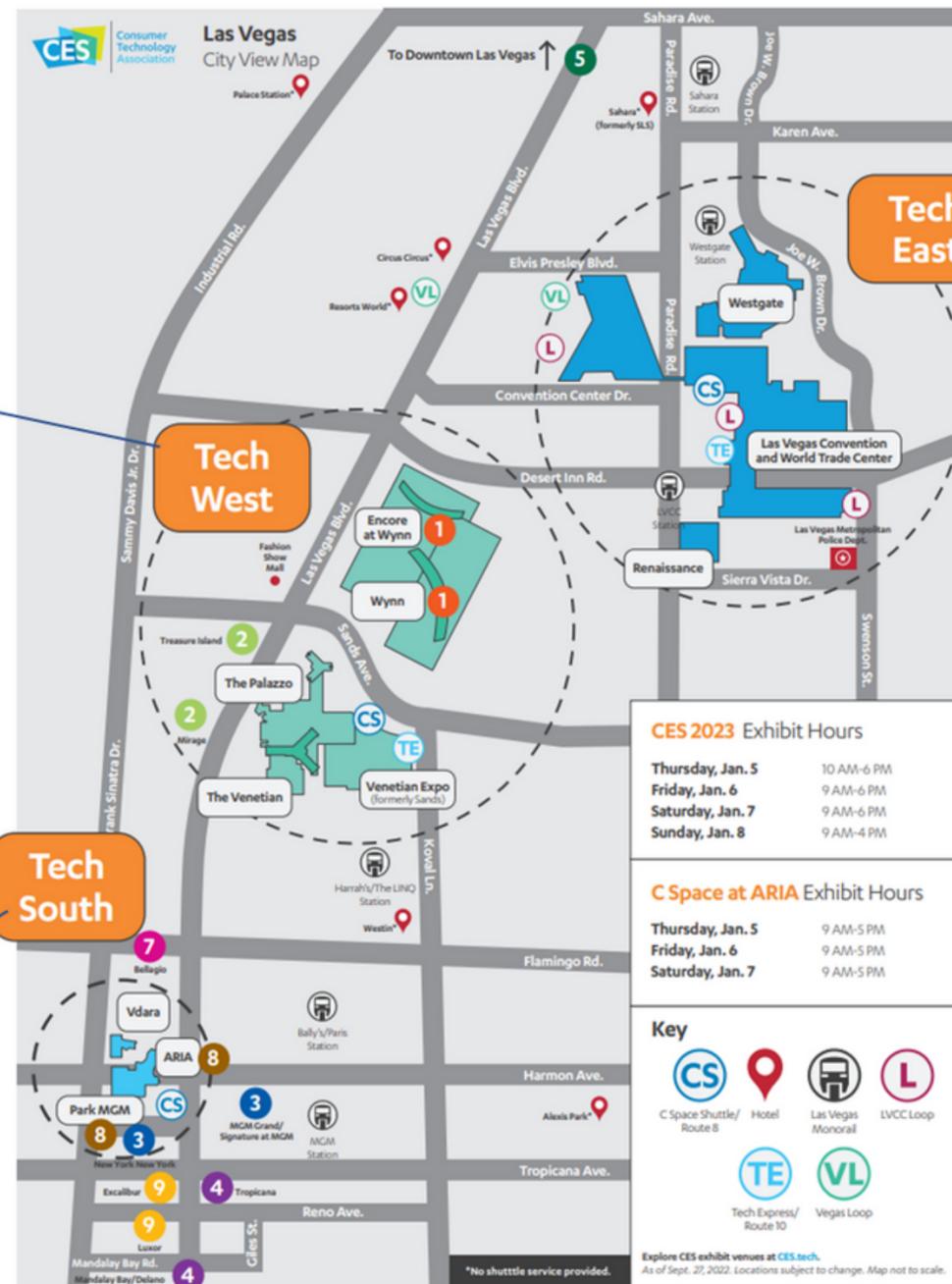
**Tech East**：新たに市場に投入される自動車、電子機器、AIロボティクス、デジタルヘルス、メタバース、XR、ゲームをはじめ、あらゆるデジタル分野の革新的製品が展示

**Tech South**：広告、コンテンツ、マーケティング&エンターテインメントコミュニティを扱う、カンファレンスセッション、ネットワーキングイベント、展示会や接待用特別室など様々な活動を主催



# CES視察 1.10 wed~11 thu

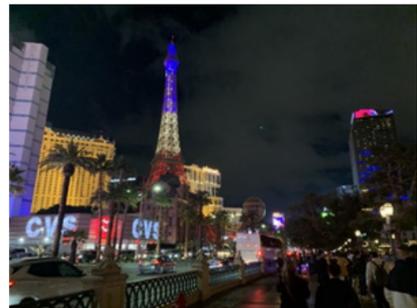
## 会場図 CES2023



- スタートアップ
- カントリーパビリオン
- 3Dプリンティング
- フードテック
- スマートホーム
- スポーツテック
- アクセサリーズ

- アドバンストモビリティ
- AIロボティクス
- デジタルヘルス
- エンタープライズ
- フィンテック
- IoT インフラ
- ゲーミング
- メタバース
- XR

- ウーバー
- ヤフー
- T-Mobile
- Amazon Ads
- Walmart



# スタンフォード大学 1.12 fri

各種世界大学ランキングで常に最上位に位置する教育機関であり、最も古く権威のある英国世界大学評価機関QS世界大学ランキング2021では世界第2位。

スタンフォード大学は特に起業家精神に優れた大学として知られていて、スタートアップ企業への資金提供において世界で最も成功している大学の1つである。卒業生はこれまで多数の企業を設立し、これらを合わせた年間収益は2.7兆ドル（約290兆円）を超え、世界第7位の経済規模（2020年時点）に匹敵している。

## Stanford



※こちらの訪問先は変更になる可能性があります

## ビジネス革新ワークショップ

スタンフォード大学のリチャード・ダッシャー教授によるビジネス革新ワークショップを実施。

「米国と日本のイノベーションの違い」をテーマに、講義とグループディスカッションを行い、日本の企業や経済がこのままでは世界の競争からおいてかれるのではないかとすることを再認識し新たなイノベーションにチャレンジするマインドセットの機会とする。



### Richard Dasher

1994年からスタンフォード大学、アメリカ・アジア技術経営センターの所長を務める。研究・教育の主な対象は、イノベーションシステム、産業のバリューチェーンにおける新技術の影響、オープンイノベーション・マネジメント。日本、タイ、カナダなどの大学、国の研究機関、科学技術プログラムのアドバイザーにも就任。2004年～2010年まで、日本の国立大学初の外国人経営メンバーとして東北大学の理事を務めた



# シリコンバレー

1.13 sat

## ビジネス観光

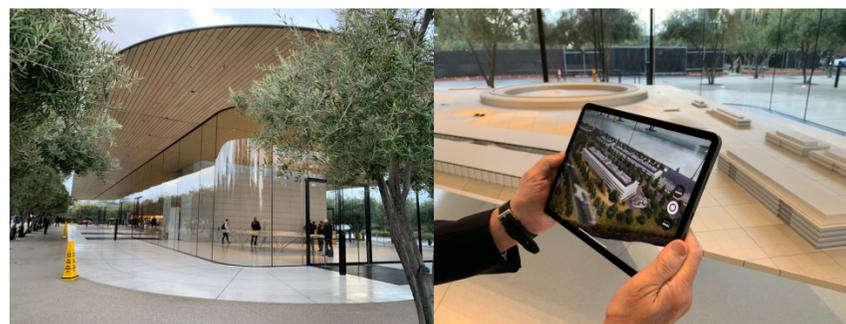
### Computer History Museum

コンピュータ歴史博物館はGoogle本社があることでも有名なマウンテンビューに位置する博物館で、コンピュータ関連の歴史的な展示物を多く所蔵している世界で最大かつ最も完全なコンピュータ歴史博物館。



### Apple Park Visitor Center

今世界で最も知られている企業の一つであるApple社のヘッドクォーター。その横には、訪問者を対象とした専用施設「アップルパーク・ビジターセンター（Apple Park Visitor Center）」



※上記の訪問先は変更になる可能性があります

### Meta Retail store

Meta（旧Facebook）は、メタバースビジネスを売り込むために、実店舗に賭けている。最初のMeta Storeは、メタバース製品を開発しているMetaの研究施設リアリティ・ラボ（Reality Labs）に位置する。店頭では、Metaの3つのメタバース製品、スマートビデオチャット機器「ポータル（Portal）」、スマートグラス「レイバン・ストーリーズ（Ray-Ban Stories）」、バーチャルリアリティ・ヘッドセット「メタクエスト（Meta Quest）」を試したり、購入したりすることができる。



### Googleplex

GoogleplexはGoogle本社の愛称。本社内にはオフィスのほか、公園、世界の料理を提供する無料の社員食堂、フィットネスジムやサウナなども完備されている。屋根には9,212枚のシャープ製太陽電池が取り付けられており、建物が必要とする電力の約30%をまかなっている。



# シリコンバレー

1.15 mon

## RakuNest

RakuNestはシリコンバレーの中心に位置し、シリコンバレーでの成功のために、ワーキングスペースとコミュニティを提供している。米国進出中、あるいはこれから進出予定の企業担当者様だけでなく、コーポレート、スタートアップ、投資家の方達の交流の場としても活用可能。



## UC Berkley Skydeck

SkyDeckはアメリカの公立大学においてトップであるUCバークレー(カリフォルニア大学バークレー校)による大学発アクセラレータ。このプログラムに参加するスタートアップは、世界中からUCバークレーに集まる知能と直接つながり、世界トップ大学の一員として迎えらる。



Jon Metzler教授  
バークレー・ハース校で講師を務め、技術市場における競争優位や、学部生・MBAレベルの国際ビジネスについて教えている。

## Japan Society of Northern California

シリコンバレーにおいて、人とのつながり、ネットワークが最重要というのは、多くの方が賛同されているが、ジャパンソサエティではシリコンバレーという立地条件を活かし、企業がスムーズにネットワークを構築できるようにさまざまなカタチでサポートしている。また、テクノロジーに限らず、政治、経済、アート、フードなど、様々な分野で知的好奇心を刺激するユニークなプログラムを年間を通じて提供している。

※上記の訪問先は変更になる可能性があります

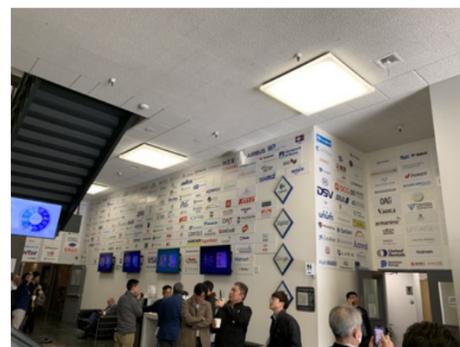
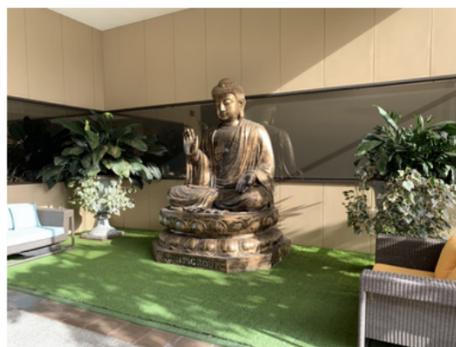


JAPAN SOCIETY  
OF NORTHERN CALIFORNIA

# シリコンバレー **1.16 tue**

## Plug and Play Tech Center

Plug and Playは、新しい未来をつくりだすような先進技術をもつスタートアップと各業界のリーディングカンパニー、大学や行政機関、そして投資家をつなげることでイノベーションを加速させ、世界が持続的に発展していくことを目指す、シリコンバレーを代表するオープンイノベーションプラットフォームです。



500社を超える新規事業開発を目指す大手企業と50,000社以上の革新的な技術を基に新しいビジネス創出するスタートアップ企業のネットワークを有す。

**1.15 tue**  
**a.m 10:00**

Plug and Play Tech Centerの  
施設見学 & 事業説明

**p.m 1:00**

Plug and Play に入居している大手企業及びスタートアップ企業と個別マッチング  
1社につき最大2社と面談

**p.m 4:00**

ネットワーキングイベント

大手企業の新規事業開発部やスタートアップ企業のピッチを体感するとともに、より多くの企業やアクセレーターとの懇親会を通じたネットワーク構築を図る。



# Confirmation 1

## 01 申込定員10名

定員を超える申し込みがあった場合は、申込書の内容から本事業の主旨に合って、より効果が見込める参加者を選定させていただきます。

## 02 参加費：無料

ただし渡航費、宿泊代、飲食代、現地移動費などは自己負担となります。

## 03 現地集合・現地解散

本プログラムは、基本は現地集合・現地解散です。宿泊先も自由ですが、不安のある方は事務局と同じフライトや宿泊先をご予約することをお勧めします。

## 04 プログラムの途中参加について

CESは自由にまわり、シリコンバレーからの同行参加することも可能です。ただしその場合でも国内で実施する事前・事後の研修はご参加ください。

## 05 プログラムの変更について

スタンフォード大学及びジャパンソサエティの訪問は現在調整中です。そのため他の訪問先へ変更になる可能性があります。ご了承くださいませようお願い致します。



# Confirmation 2

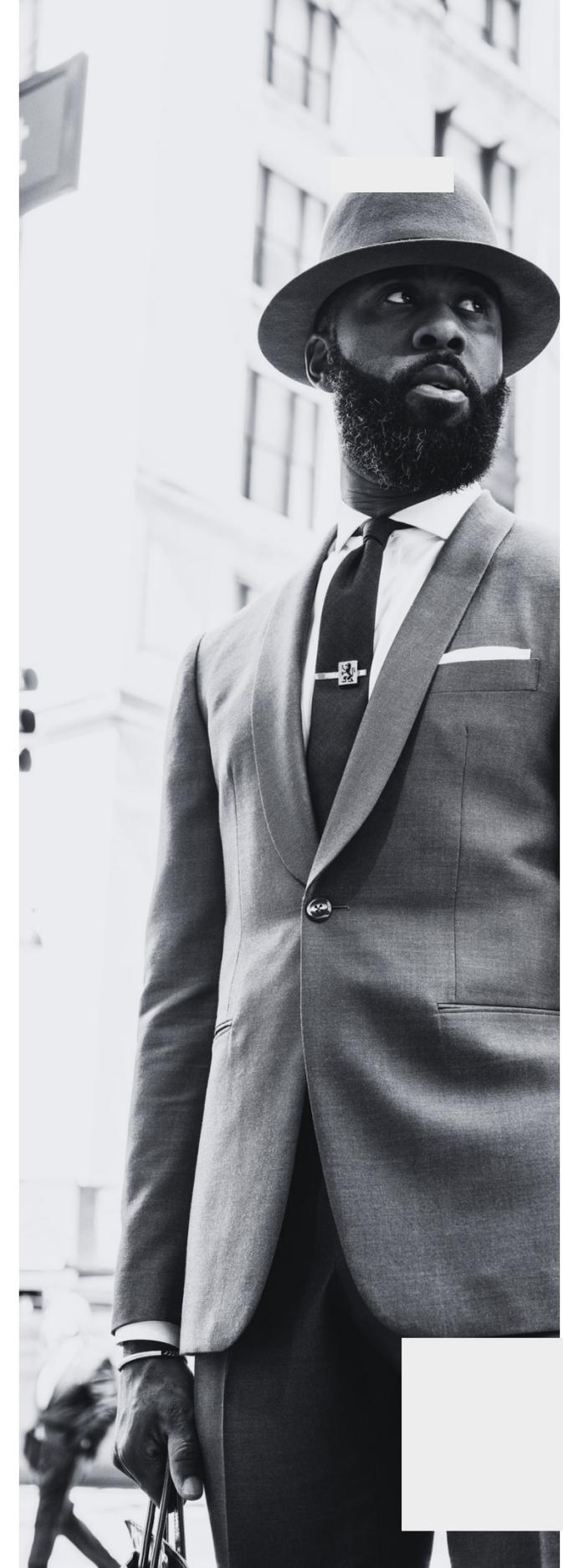
## 06 Plug & Playでの企業面談について

10月頃に事前に面談希望ニーズをお聞きし、訪問時の面談を2社程度設定します。Plug & Playネットワークの大手企業やスタートアップ企業が面談対象となります。またスタートアップ企業と面談希望の場合は、その場で即決可能な意思決定権者の参加を推奨します。

## 07 必要な語学力について

本プログラムは、基本は通訳はおりません。そのため英語でのコミュニケーションに積極的にチャレンジしたい方の参加を募集します。

- CES：通訳なし
- スタンフォード大学ワークショップ：通訳あり
- 1/13ビジネス観光：通訳なし
- RakuNest、UCバークレー、Japan Society：通訳なし、日本語対応可
- Plug & Play：日本語対応可、企業マッチングは英語対応。英語での商談に不安がある方は日系企業との面談を推奨します。



# Confirmation 3

## 08 事前・事後研修について

9月の事前説明会は、プログラムの詳細説明と参加者の顔合わせを行います。  
12月の事前説明会は、CESの展示ブースと訪問ルートの確認を行います。  
2月は本プログラムの経験を今後、どう活かすかを確認します。

## 09 お申込みについて

お申込みは下記URLまたはQLコードからお願いしま。申込期限8/31

URL: <https://forms.office.com/r/AZdeySQqVk>



## 10 お問合せについて

本プログラムの詳細について説明を聞いてから検討したい方は、最終ページのお問合せ先までご連絡ください。訪問またはオンラインでご説明させていただきます。



Saitama City Foundation for  
Business Creation

# Contact

Information



# End



## Contact Us :



048-851-6652(Office)



[dx@sozo-saitama.or.jp](mailto:dx@sozo-saitama.or.jp)



さいたま市産業創造財団  
事業企画課 丸山

